

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

|      |   |
|------|---|
| 学会名  | アジア神経精神薬理学会<br>The 4th Congress of Asia College of Neuropsychopharmacology  |
| 演題名  | Behavioral and chemokine gene expression analyses in the mice exposed in utero to valproic acid.  |
| 発表者  | ○ <u>Hiroko Kotajima-Murakami</u> , Yasuko Nakamura, <u>Chikako Waga</u> , Kenta Seki※、Koudai Kakiguchi※、Hiroshi Hatoyama※、Yu Motegi※、Kazutaka Ikeda, <u>Shigeo Uchino</u> (神経生物学研究室)   |
| 内容   | 2015年11月に台湾で行われた上記学会にて、内野研究室の村上研究員が上記演題についてポスター発表を行った。本研究では、胎生期に神経発達毒であるバルプロ酸を曝露した発達障害病態モデルマウスにおいて、生後発達期における協調運動、情動、社会性に関する行動試験を行うとともに、発達過程の脳（大脳皮質、海馬、小脳）におけるケモカインCCL5 (rantes) の発現を定量PCRで解析した。特に、定量PCRは平成26年度の卒研究生が中心に行った研究成果である。なお、本発表は「JSNP Excellent Presentation Award for AsCNP 2015」を受賞した。 |
| 関連画像 |    |